

有限会社 加賀テント工業所 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年1月23日

株式会社北洋銀行
釧路中央支店

1. 基本情報

| | | |
|------|--|-------------------------------|
| 企業名 | 有限会社 加賀テント工業所 | |
| 代表者名 | 代表取締役 加賀 省二 | |
| 所在地 | 本社兼工場 北海道釧路郡釧路町国誉4丁目13番地1 | |
| 資本金 | 500万円 | |
| 従業員 | 11名 (2025年11月現在) | |
| 業種 | 製造業 | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">帆布製品の製造販売(水産・建築構造物・工業機械用)網具販売布製品の製造販売(バッグなど) | |
| 沿革 | 1921年 | 函館市にて、加賀常吉が個人創業(屋号:加賀製帆所) |
| | 1959年 | 釧路市南浜町に移転、加賀茂男を代表とし加賀網具工業所に改名 |
| | 1965年 | 釧路市入舟町へ移転 |
| | 1972年 | 本社工場新築のうえ現住所へ移転 |
| | 1990年 | 資本金500万円にて法人設立、加賀茂男が代表取締役就任 |
| | 1998年 | 加賀省二が代表取締役に就任、現在に至る |

2. 経営理念

経営理念

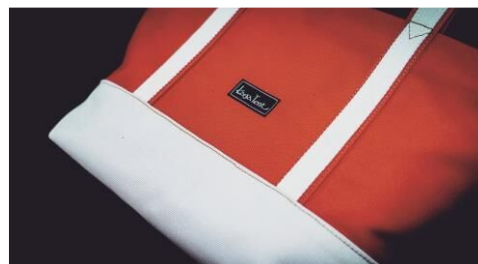
「シートの可能性を信じる」

加賀テント工業所は、創業以来、函館から釧路へと移りながら海上部門専用のテント業として今日まで歩んできた。当社は、創業100年を超える業歴の中で産業の形が変わる中でも、常に変化に対応し、自社製品の変革を続けている。経営理念には、変化の中でも一貫して取り扱ってきたシート(帆布製品)への信頼を掲げ、培われた技術力を活かし、今後も顧客のオーダーに合わせた製品作りへのチャレンジを続けていくことを使命として定義している。

3. 事業概要

加賀テント工業所は釧路郡釧路町に本社を置く帆布製品の製造業者である。釧路地区を主な活動エリアとし、「最適なパートナー」をスローガンに掲げ、顧客のニーズに応じたオーダーメイド製品の製造に取り組んでいる。当社では、設計段階から顧客の要望を取り入れた製品づくりを行っており、釧路エリアへの移転後、66年間に亘って地域のニーズに応じてきた。また、自社技術を活用し、バッグなどへの技術活用も進めている。

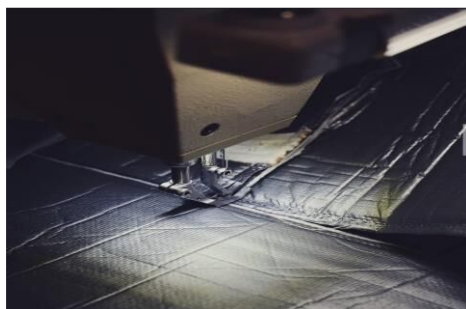
■ 当社製品(一例)



出所：有限会社 加賀テント工業所 公表資料

当社は現在、「環境保全」と「地域課題を地元企業で解決」の両立を目指し、「生分解性生地」を活用した環境配慮型シートの製造を進めている。長年の業歴で培った技術力を活かし、土に還る繊維を活用したこのシートは、道路や線路に侵入した動物の死骸処理への利用を想定している。シートに包んだまま埋立処分が可能となり、「産業ゴミによる自然環境汚染の軽減」や「作業効率の向上(エネルギー削減)」といった社会貢献を目指している。2023年頃より開発に着手し、研究・開発期間を経て製品化が視野に入っており、地域社会の持続可能な環境保全に対する貢献が期待される。製品化後は、自社オーダーメイド製造の強みを活かし、多様な分野への応用活用にも力を入れていく方針である。また、環境保全に配慮した製品の製造に向けて、自社工場で発生する温室効果ガス排出量の測定にも着手予定である。

■ 社内での技術指導の様子



出所：有限会社 加賀テント工業所 提供・公表資料

加賀テント工業所は、経営理念に掲げる「シートの可能性を信じる」を念頭に、自社製品の革新を支える人材へ技術継承に向けた教育に注力している。社内では、代表者をはじめとした帆布製品製造技能士の有資格者が指導にあたり、後進への技術継承に取り組んでいる。さらに、資格の取得を目指す従業員に対して資格取得補助制度を設けており、技術承継を円滑に進めるための組織体制・風土をつくっている。

組織活性化に向けた取り組みでは、有給取得の促進、育児への積極的参加の推進、女性社員の登用などを進めており、働きやすい環境づくりを心掛けている。


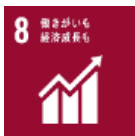
4. サステナビリティ目標

加賀 TENT 工業所の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、加賀 TENT 工業所の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、加賀 TENT 工業所のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

| | |
|-----------|---|
| 重要課題 | 脱炭素社会実現への貢献 |
| 目標・KPI | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 関連する SDGs |   |

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

| | |
|-----------|---|
| 重要課題 | 人的資本経営の推進 |
| 目標・KPI | 有給休暇取得率を 70%以上にする。 |
| 関連する SDGs |   |

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。